



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
 (カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
 【今月の一冊】伝える力
 池上 彰 著 PHPビジネス新書
 ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2014年8月1日 Vol. 142
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 代表取締役 渡邊 敏徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
 TEL 0554-67-8006 FAX 0554-22-2859

動物園のライオン

野生のライオンは、厳しい自然界の中で狩りをして生きています。私たちも毎日一生懸命に働いて生活しています。

ところで、動物園にいるライオンは“おり”に入っていますが、これは人間を守るためでしょうか。それともライオンを守るためなのでしょうか……。

普通は、人間が襲われないためにと考えるのが一般的だと思うのですが、違った見方をすることもできると思うのです。ライオンは、動物園の中で毎日決まった時間に食べやすくカットされたエサを、当たり前のように食べて暮らしています。野生のライオンと違って、エサとなる獲物を捕まえる必要もなければ、食いつばぐれる心配もありません。野生のライオンは、何日もエサにありつけないことさえあります。

しかし、この動物園のライオンがおりから放たれたら一体どうなるのでしょうか。食べやすくカットされたエサなど自然界にはありません。生きている牛を見ても、畑にある野菜を見ても、これがいつも食べているものだと気づかないでしょう。動物園で育ったライオンは、自然界の中で自らエサを見つけることが難しくなっています。

動物園の“おり”は、人間に危害を加えることを守るためでもあるが、ライオン自身を守るためでもあるという見方もできると思うのです。実際におりがなくなったとしたら、ライオンは自由になったと喜んだのもつかの間、生きていけないことにはじめて気づきます。

私たちの社会にも同じことがあるのではないのでしょうか。私も金融業界(保険)において1996年から始まった「金融ビッグバン」と呼ばれる大規模な金融制度改革を体験し、“おり”が崩壊しました。最近では、「TTP」参加による大規模な“おり”が取り払われようとしています。



グローバル化が進む中で、私たちの生活環境は大きく変化していることを理解しなければなりません。しかし、“おり”が取り払われることにより、強い者も自由に解放されることを認識する必要があります。これから“弱肉強食”の時代が益々加速していく中で生き残っていかなくてはなりません。自分自身に力をつけていくことが大切なのだと感じています。

今やるべきこと？

私たちは、仕事やプライベートにおいて何かをやらなければならないことがあった場合、すぐに対応することはとても大切なことだと思います。

例えば、目の前で鳴っている電話には何としても出なければならないと、殆んど人は感じていると思います。料理をしても、ご飯を食べていても、それを中断して受話器をとりに行きます。ビジネスにおいても、相手を知らない人でも留守番電話に伝言があれば、折り返し電話をしなければと感じてしまいます。

今、私たちが便利に使っている携帯電話のおかげで、1日24時間、ひと時も休むことなく電話の「奴隷」になってしまい振り回されています。

携帯電話やタブレット、ノートパソコンといったモバイル機器は、人を束縛から解放し、いつでもどこでも仕事ができるようにする便利なツールだったはずが、逆に人を束縛し、いつでもどこでも仕事をしなければならない状態になってしまっています。ファックスやEメールも同じことが言えます。事務所内で通信文書を受信すると、すぐに返信しなければと感じてしまいます。今、多くの人が、携帯電話をはじめとするモバイル機器を手放せなくなっています。

しかし、本当は今やるべきでないこともあると思うのです。「今、なすべきことを見極める」ことはとても重要なことなのではと感じます。意図的に、翌週や翌月に割り振ったり、完全に無視して対応しないことも必要なのではと思います。



◇人手不足倒産 1月から5月で114件！

建設業や小売業、外食産業等を中心に人手不足が表面化しています。東京商工リサーチによると、人手不足が原因の企業倒産は2014年1月から5月まで累計で114件に達しています。企業業績が拡大している一方で、「職人不足による工事遅延や中止」「製造現場での従業員不足による生産遅延」「外食産業での営業時間短縮や店舗閉鎖」といった人手不足が原因での倒産が見受けられる。